

八峰コミスク通信

小・中学校は、明日から冬休みに入ります。さっそく各地区では、小中連携奉仕活動が行われます。地域での子どもたちへの声かけをよろしく願います。

白神MOFタイム会議（十二月十三日）

今年度、総合的な学習の時間で取り組んだ、「職場見学」、「名産品PR」、「オリジナル商品開発」についての発表の後、「この後、自分ができること」「八峰町に対するこれからの自分の関わり方」などについて、グループで意見交換し、最後は、全校生徒で意見の交流をしました。



「八峰町には歴史があり、海外で活躍する人や全国から注目されている人、企業があることを知った」、「自分たちが支えられていることに感謝し、恩返しや貢献をしていきたい。」などの意見が発表されました。

生徒会長選挙 立会演説会 投票（十二月十六日）

四名が立候補し、これまで、登校時や昼の選挙運動に取り組んできました。立会演説会では、推薦者と立候補者が順番に演壇で演説を行いました。立候補者は、「みんなが楽しく明るく生活できる学校」や「コミュニケーション能力の向上」など独自の公約を示し、投票を呼びかけました。全校生徒は、真剣に演説を聞き、新しい生徒会長をしっかりと選ばうと、整然と投票をしていました。



令和6年度
第16号
R6/12/25
CSデルクター
三浦

性教育講座（十二月十九日）

助産院イスキアの菅原院長を講師に招き、全校生徒を対象に開かれました。

「自分の心と体を見つめてみよう」という講話で、「中学生は、命をつなぐ体になっているので、心と体づくりは大切だということ」



「人の話を聴くコミュニケーションの大切さ」、「正しい男女交際」、「思春期の性」、「妊娠のしくみと受精」など、中学生にとって、これからの生活や生き方に大切なことをたくさん話してくださいました。

職業体験会（十二月十九日）

一、二年生の二学期末PTAに合せて、能代山本建設業協会女性部会（能代山本アテナ）の皆さんが来校し、体験の講師をしてくださいました。



「女性技術者が伝えたい『まちを守り、まちを創る』新しい建設業」と題して、女性も活躍している現在の建設業についての講話を聞きました。

講話の後、一、二年生は、ドローンの操作、測量、重機の操作を順番に体験しました。操作する機会のない専門の重機や最新の機器、機械の操作体験に、生徒の皆さんは、興味津々に取り組んでいました。

PTAに出席の保護者の皆さんも、生徒と一緒に参観していただきました。



八森子ども園

キッズクラブぐんぐん（十二月十七日）

特別支援教育統括コーディネーターの加賀谷勝先生が講師を務めてくださり、年長園児を対象に、二つの子ども園で行われました。数字や文字に

親しんだり、集団でルールのあるゲームに参加したりすることを通して、小学校生活への気持ちを高めるねらいがあります。大ききや長さを比べるクイズや問題に取り組んだり、加賀谷先生の指示に合わせたグループ作りをしたり、フラフラプリーレを行いました。最初は少し緊張していた子どもたちでしたが、体を動かすゲームが始まるころには、元気いっぱいになり、みんな協力して課題を解決しようとすることが見られました。



八森小学校

六年生 そば打ち体験（十二月十七日）

J A 秋田やまもと食農活動で、グランママシズターズの皆さんが講師を務めてくださり、本館地区で収穫したそば粉を使って、そば打ちの体験をしました。そば粉をこねて、麺棒で延ばし、包丁で切るまでを実演で教えてもらった後、さっそく、そば打ちの作業に取りかかりました。

グループで協力し、スムーズに作業を進め、おいしそうなおそばができました。みなで地元そばの本館そばをおいしくいただきました。

